

町田市議会議員・若者育成の街

吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動

町田市議会
〒194-8520 東京都
町田市森野 2-2-22
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



インターンシップ好評

中学校給食は全員給食の答申

この間、町田市は、学校給食問題協議会で新たな中学校給食の在り方を検討していましたが、生徒全員を対象にした給食を導入する答申を出しました。現在まで実施している方式は、市外業者に委託して造った弁当を、保温が効かないケースに入れ、各中学校に注文した生徒分の数を届けるやり方です。現在まで、一貫して注文数が減り、現状では10%を切る不人気さになっています。

新たな方式は、市内2カ所に給食センターを設置して、そこから保温が効く「食缶」を使って全校に配布するものです。当然、温かな汁物もつくはずだと思います。そうした内容を調べた範囲では、私たち保守の会が視察報告した、青森県八戸市の方式と同様な方法が推奨されました。*小学校の自校方式とは異なるものです。この「食缶」で運ぶ方式だと、教室の各階までを業者さんが、各階のフロアにはエレベーターあるいは、リフトで運ぶ必要になりますが、生徒さんにとっては、給食を食べる時間がかかり過ぎることの解消につながります。現行の大幅な改善につながるでしょう。



温かい状態でおかずや汁物も教室に運ばれる

オリンピックを中止しよう!②

日本と東京都はオリンピックを開催が不透明な状況下にありますが、現実の政治は延期した施設の維持管理、事務局体制を長期化して、更に予算を投入しようとしています。私は、いち早く全面的に「オリンピックを中止しよう!」という路線に転換し、五輪の準備費用、開催費用を全て新型コロナ対策、取り分け医療従事者の負担軽減に振り向けるべきだと主張しています。つまり、これ以上の無駄金は一切出さないという立場で臨むのが、私を含めて誘致を進めた政治家の責任だと思います。

世界では、新型コロナの変異種の出現、拡大が新たな脅威になっていますが、今後日本はその進入を防ぐのであれば、当面の間、外国との交流を控える、人的流入を閉ざした鎖国政策をとらざるを得ないと考えます。観光や技能実習による外国人の流入を当面はストップする体制が欠かせないと考え、東京都はその人的配置を取り、国内流通で成り立つ地域経済のモデルを建てるべきだと思います。その為には、この間「良識ある保守主義」の観点からも注目している、資本と労働が一体化した「ワーカーズコープ」による経営が、地域経済の中軸になっていくものと考え、その普及、支援に務めたいと思っています。

また、東京都はスウェーデンに匹敵する13兆円の予算規模を有する巨大自治体であり、私は、この規模の力を活用すれば、国内経済の中心としての地域経済を回せる体制を造り上げることが十分可能だと思います。そのためにも、これ以上の出費は抑え、いち早く、経済構造面も含め、WITH コロナ に対応できる体制への変化のかじ取りを行うことこそが、責任ある政治の姿勢と考えます。この点で、私は、現在の小池都政にはそういった先見性が足りないのではないかと思います。

◎町田市議会は定数 36 名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若い世代の育成に全力をささげる



ブログ HP
メールは
左記を読込
して送信



インターン生募集中

インターン体験記⑨松村エミリ

探査機「はやぶさ2」が小惑星「りゅうぐう」の岩石資料を地球に持ち帰ることが成功し、コロナ渦に喜ばしいニュースになっていましたが、今回はこの「はやぶさ2」の記者会見を行っていたJAXA相模原キャンパスの見学に行かせていただきました。

実際に宇宙を旅したものを目の前にすると、JAXA＝「宇宙航空研究開発機構」の方々の努力の結晶がこれなのだと思います、さらに研究者の方々の情熱に思いを馳せると、自然と胸が熱くなりました。



ロケットと人の大きさを比較してください

また同日は、JAXAの近くある、「独立行政法人国民生活センター」にも訪問させていただきました。過去、実際に事故を起こしたエレベーターなどの展示を見せて頂きました。最近のものもパネルにまとめられており、風化させないことで行える消費者への注意喚起の取り組みは重要なことだと考えました。

高校3年生 松村エミリ(第45期生)

インターン体験記⑩松村エミリ

市議会臨時議会の傍聴記

表題のものは、町田市市税条例の一部を改正する条例で行われた臨時議会の傍聴させていただきました。昨年3月の議会傍聴に続いて、今回もコロナ感染防止対策により、傍聴席で聞くことができないため、図書室で中継を見させていただきました。

この議案の提案理由は、提案者の白川議員(保守の会所属)が、現在実施している都市計画税の税率の軽減措置(0.24%)を1年間延長することにより、納税者の税負担の軽減を図るためと説明されていました。新型コロナの感染が収まらず、この提案が通らないと、0.3%にアップするのを回避するのが目的でした。この議案の内容を尋ねた議員は無く、続いて討論が行われました。反対討論があり、それに反論する賛成討論がありました。その賛成討論では、ノー(NO)原稿で登場した吉田議員の雄弁を見ることもでき、大変勉強になりました。

採決の結果は総数34人、賛成27人、反対7人で、可決となりました。



議会の閉会后、「どんど焼き」を見学
高校3年生 松村エミリ(第45期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。今回の議会報告も、いわゆる政務活動費を一切使わずに、自主的に発行しているものです。